

日本学生支援機構 給付型奨学金「校内推薦基準」

策定日 平成29年7月19日

宮崎第一高等学校

日本学生支援機構の給付型奨学金の申請にあたり、本校の選考基準を下記のとおり定める。

給付候補生の推薦基準

①家計

- ・社会的養護を必要とする者
- ・家計支持者が住民税非課税の者

②学力

- ・在学中に高い学業成績を収めており、進学後も優れた成績を収める見込みがあること
- ・本校の教育目標と学習成績に十分に達する模範的な生徒で、教科外活動が特に優れ、大学等への進学後も十分に能力を発揮することができる見込みがあること。
- ・大学等進学に強い意欲があること。

③人物

- ・将来の目標が明確であり、大学等の卒業後も良識有る社会人として活動し、社会に貢献する人物となる見込みがあること。
- ・生活態度、学習態度が奨学生としてふさわしい態度、行動ができること。

④健康

- ・大学等進学後も、修学に十分耐え得る身体であること。

⑤担任の評価

- ・家計、学力、人物、健康を考慮し、本校の推薦者としてふさわしい人物であること。

⑥対象者

- ・本校の高校3年生および卒業後2年以内の既卒生を対象とする。

給付候補生の校内選考過程と選考基準

1 一次審査

- 1) 一次審査では、給付候補生の担任と奨学金担当者全員が出席し推薦基準①～⑤を確認し、基準を満たさない場合は候補生から外す。
- 2) 社会的養護を必要とする生徒については、推薦枠外での「給付候補生」とする。

2 二次審査

- 1) 二次審査では、学校長、奨学金担当者と担任、給付候補生が出席し一組ずつ面談による評価・確認を行う。
- 2) 本校に配分された推薦枠を越える給付候補者がいる場合には、次の点を踏まえて選考する。
 - ・現在、他の奨学金を受給している者であること。
 - ・給付候補生の世帯の状況や生活環境などを勘案し、進学が困難な家計状況であること。
 - ・進学する可能性が高いこと。
 - ・将来にわたって社会貢献が期待できる人物であること。
- 3) 学校長、担任、奨学金担当者を交え、本校の推薦枠内の人数の給付候補生を最終決定する。

3 その他

全ての選考、推薦において、個人のプライバシーに配慮する。